

はじめに	山口 晃弘	はじめに
第1章 中学校理科における 個別最適な学び・協 働的な学び	山口 晃弘	1 中学校理科の学習指導要領の構成 2 理科の目標のとらえ方 3 指導の個別化・学習の個性化 4 個別最適な学び 5 自己決定と自己調整 6 協働的な学び 7 探究的な学び
	山口 晃弘	コラム 旧来型のチョーク&トークの教育実習
第2章 自己決定を核とした 個別最適な学びを目 指した実践事例	川島 紀子	観察対象を生徒が選ぶ
	武田 舞子	単元内で自由進度の学習を行う
	佐久間 直也	個別の目標を見取り育てる
	佐久間 直也	自己決定に基づく実験計画を作成する
	山口 晃弘	コラム 生徒の行動を含めた授業構成
第3章 自己調整を核とした 個別最適な学びを目 指した実践事例	高田 太樹	やり直しレポートを作成する
	中島 誠一	シミュレーション教材を活用する
	栃山 裕策	教材が自由に使える環境を整備する
	山口 晃弘	コラム 授業改善に役立つICT
第4章 相互啓発を核とした 協働的な学びを目 指した実践事例	菰池 彰子	実験方法を生徒が選ぶ
	栗田 将平	ばねの伸びと力の関係を調べる実験を計画する
	小笹 哲夫	相互評価の手立てを整える
	内藤 理恵	分担して観察・実験計画を立てる
	吉田 勝彦	分担して資料を集め、情報を分析する
	佐久間 直也	確からしさを「自信度」として、自身の考えを明らかにさせる
	青木 久美子	グループレポートを作成する
	山口 晃弘	コラム ICTの波
	山口 晃弘	コラム 個別最適な学びを行う意味
	山口 晃弘	おわりに

明治図書

9/15 発売 単行本

定価 2,060 円 (税込み 2,266 円)

『中学校理科の個別最適な学び・協働的な学び』

観察・実験を行うことが多い理科授業において、どのように個別最適な学びと協働的な学びを実現するか。「自己決定」「自己調整」「相互啓発」の3つの切り口から紹介。

単元内自由進度学習、探究的な学びなどの注目されている方略も含んだ充実の1冊。

# 中学校理科の 個別最適な 学び・ 協働的な 学び

山口晃弘  
編著

自己決定

自己調整

相互啓発

で

新しい授業をつくる

明治図書